



林友次郎句集

天帝

狐冥かけて百年待つ構へ

この句は、鷹揚でもあり、思想的でもある。また作者の人生・自然への姿勢でもあり、生き方でもある。そうした全てが凝縮され、芭蕉の『奥の細道』の思想的到達点でもあった「融合の思想」に到っている。

……………小澤克己

(序より)

天
帝
の
掌
に
置
く
秋
薊

天
界
の
薄
紅
の
古
代
蓮

天地をくるりと廻す白日傘

書棚からゲートル抜きとる夜這星

冬
帽
子
海
に
か
ぶ
せ
て
防
波
堤

蟻
地
獄
音
沙
汰
の
な
き
ソ
ク
ラ
テ
ス

新涼や僧のかかへし河童絵 凶

緋けば天女の手紙藤の花

狐
罨
か
け
て
百
年
待
つ
構
へ

枯
る
る
ま
で
青
々
走
る
八
十
路
か
な

今日もまた百句紡ぐや秋の道

誠心の師系一筋秋の薔薇

妻
逝
く
や
刻
平
成
の
霧
時
雨

木
犀
や
心
の
奥
に
昭
和
の
夜

妻
逝
く
も
吾
は
翁
ぞ
冬
の
薔
薇

掌
に
宇
宙
の
ゆ
ら
ぎ
寒
卵

隕石は空の古文書猫の恋

月山は芭蕉の聖地雲の峰

一
水
に
禅
の
感
応
桐
の
花

物
置
け
ば
楽
し
き
影
や
夏
の
月

新涼や一字一句に身を研ぎて

木犀や心の奥に昭和の夜

名優の花野明りに逝く朝

一城のまぶしき構へ豊の秋

天平の仏に添うて鹿の妻

橋あらば祈りて行かむ実南天

橡
の
実
や
街
道
筋
の
連
子
窓

荒
鷺
の
嶺
を
か
す
め
て
日
本
海

安曇野の
ガラス工房
や冬の
柿

冬晴れや
北斎しか
と天井画

散策の日和戴く冬木の芽

てのひらの乾きゆくなり冬の海

颯
爽
と
十
一
月
の
天
守
閣

雪
見
舟
思
ひ
数
多
の
最
上
川

雲
や
が
て
溶
け
て
青
空
草
珊
瑚

木
枯
や
武^ぶ
甲^か
山^ふ
は
白
く
尖
り
た
り

浜
風
を
戴
く
旅
路
し
ぐ
れ
宿

眺
望
の
天
守
の
光^か_げ
や
浜
千
鳥

祈
り
つ
つ
羽^は
黒^ぐ
山^ろ
の
塔
や
冬
の
瀧

赤
松
の
安
宅
の
関
や
冬
怒
濤

さりげなく仰ぐ大空
枯蠟螂

妻逝くも吾は翁ぞ
冬の薔薇

句集 天帝 てんてい

平成十九年七月二十五日 発行

著者 林友次郎

発行者 大山基利

発行所 株式会社 文學の森

〒一六九〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二―二 田島ビル八階

tel 03-5292-9188 fax 03-5292-9199

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>



印刷・製本 大村俊雄

©Tomojiro Hayashi 2007, Printed in Japan

ISBN978-4-86173-602-5 C0092

落丁・乱丁本はお取替えいたしません。

